一般社団法人 大阪府山岳連盟

Osaka Mountaineering Federation

OMF

発行日：平成 29 年 3 月 31 日
発行者：一般社団法人大阪府山岳連盟　〒537-0014 大阪市東成区大今里西 2-5-12（TEL 06-6973-3675、FAX 06-7504-4214）

1946-2016

70th anniversary

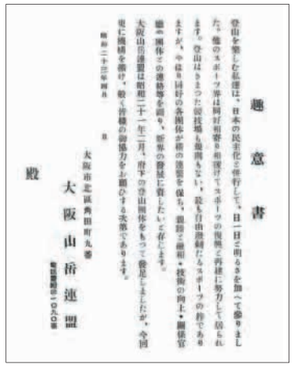
大阪府山岳連盟
創立70周年記念誌

大阪府山岳 連盟70周年

戦後の混沌とした中、逞しくも　山に情熱を抱いた者達が集い、
大阪府山岳連盟　は誕生しました。
70年に亘る輝かしい足跡を残してきた　錚々たる諸先輩に敬意を表すると共に、
ご支援賜りました多くの関係者の　方々に、心より感謝申し上げます。

大阪府山岳連盟のあゆみ

昭和10年前後	一般社団法人に移行
昭和21年	任意団体を解散、
昭和23年	山スクール開校
昭和25年	法人化趣意書の採択
昭和28年	65周年記念六甲集中登山実施
昭和29年	千早赤阪村「希望の虹」清掃協力
昭和31年	第1回生駒チャレンジ登山大会開催
昭和32年	創設60周年記念式典開催
昭和36年	登山インストラクター制度発足
昭和39年	第1回ほしだカップ開催
昭和40年	第100回自然観察会
昭和43年	事務所を現在地（東成区）に移転
昭和44年	50周年記念「大阪50山－大阪五十之嶺峰」刊行
昭和45年	第52回なみはや国体山岳競技主管、天皇杯第3位
昭和47年	日韓友好岳人交流会（大韓山岳連盟ジョン・ビョンミン会長他13名）
昭和48年	パーソナル会員制度発足
昭和49年	府民ハイク100回達成
昭和50年	第50回自然観察会
昭和51年	第2回大阪城天守閣他清掃
昭和53年	スポーツクライミング「懇親クライミングコンペ」開催
昭和54年	第1回気象講習会
昭和55年	日台友好登山（玉山）
昭和57年	全国高校総体主管
昭和58年	機関紙「山岳おおさか」タブロイド版7200部
昭和60年	第1回アマ無線技士養成講習会
昭和62年	第1回山岳駅伝大会開催
平成2年	日韓親善登山（雪岳山、仁寿他）
平成3年	国体予選近畿地区大会主管
平成5年	大阪城天守閣清掃
平成6年	大阪体育協会スポーツ指導員養成講習会開始
平成7年	第1回岳人祭（大懇親キャンプ改め）
平成9年	第1回楽しい夏山登山開催
平成10年	第1回山岳スキー入門講座開催
平成12年	第1回大阪岩登り競技会（蓬莱峡）
平成16年	30周年記念海外合同合宿カナディアンロッキー、Mt.アサバスカ他
平成17年	第1回チャレンジ登山大会ダイヤモンドトレール
平成18年	加盟数120団体
平成19年	府岳連隊ダウラギリⅣ峰（7661m）初登頂
平成21年	第1回府岳連近辺登山道清浄化運動（登山道清掃ハイク）
平成23年	第1回懇親山岳スキー競技会（乗鞍岳）
平成26年	25周年記念海外合同合宿アメリカ・カナダ8座
平成27年	アンナプルナⅣ峰（7525m）隊双方登頂
平成28年	府岳連主催ダウラギリⅥ峰（7639m）隊・
	大阪市民ハイク開催
	20周年記念登山アラスカ・バンクーバー峰南西稜（4789m）登頂
	チリーアンデス、ワーデイントン、マッキンレー各隊派遣
	アラスカ・Mt.セントエライアス主峰（5489m）第3登後援
	（ビッグホワイト・ピーク、7083m）
	全日本山岳連盟ヒマラヤ登山隊派遣
	加盟団体合同懇親キャンプ（蓬莱峡）
	第1回全日本登山体育大会開催（大峰・大台）
	第1回岩登り講習・遭難救助訓練開催
	夏山映画会開催（中央公会堂）
	第1回近畿府県合同登山開催
	夏山相談所、冬山案内所を開設
	体育大会に登山部門開催
	府民体育祭および府民総合
	加盟数37団体
	大阪山岳連盟として再発足
	第1回山の集い
	初代理事長武内重雄氏就任
	2月　大阪府登山連盟発足
	各山岳会メンバー約50名で「山の集い」が結成（岳連前身）



趣意書

大阪山岳連盟

殿



平成26年3月19日
大阪府山岳連盟理事会

法人化趣意書

登山は中高年だけでなく若者や家族まで幅広い層に広がりをみせている。さらにスポーツクライミングやハイキング、トレイルランニングなどスポーツを楽しむ幅広い年齢層の人が増えている。

さらに、日本山岳協会が公益法人になったことを受け、大阪府山岳連盟の目指すべき方向性として、岡嶽山岳会はもとより幅広い層を対象とする公益活動へと舵を切ることが益々求められている。

このような登山の広がりと大阪府山岳連盟が果たすべき役割を鑑みると自ずとおかれている立場の改革が喫緊の課題になっている。

ここに法人化を目指すことを確認し、今後、法人化のあり方に検討を加え、法人に相応しい定款の改定作業を行うものとする。

以上

ご挨拶・祝辞



大阪府山岳連盟　創立70周年を記念して

会長　中村 久住

我が、大阪府山岳連盟は創立70周年を迎えました。
ひとえに、戦後すぐ大阪岳連を創られた先輩方が日々切磋琢磨され、六甲山からアルプス又海外の山を目指し「より高く」「より早く」「より困難」を求めた、アルピニズムの精神が脈々と受け継がれてきた成果ではないでしょうか。そして、70年、多くの登山者が、この組織を慈しみ、育て、アクティブに活動を続け、今日に至っていますことは感謝の念に堪えません。

昨年制定されました、国民の祝日「山の日」も、登山人口は800万人とも推計され、山に囲まれた日本であればこそ実現したものではないでしょうか。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」そして、安全に楽しい登山を啓発する日です。
山の自然環境を大事にする方、ハイキング・トレッキングが好きな方、岩壁や高山そしてヒマラヤの高峰を目指す方、新しくは競技としてのスポーツクライミングに取り組む方等々山の楽しみ方は多様を極めています。特に2020東京のオリンピックで正式種目となったフリークライミングは新たな若者の目標となっています。各都市にクライミングジムが沢山でき、子供から大人まで幅広く楽しまれています。愛好家は60万人ほどと言われていますがどんどん増えています。この様に登山界は多様化の一途を辿っていますが、これらの育成と普及が我々の使命と心得、より多くの方々に安全に山を楽しいでいただきたいと願っています。

連盟のモットーである「汚すまい　この道　この山　この自然」を貫き、そして「良い山行きを通じて心通う仲間との楽しい登山」を心に刻んで邁進致します。



紡ぎだす次の10年

専務理事　飛田 典男

10年後の大阪府山岳連盟のカタチを標榜することで、今後の歩みと在るべき姿を考えてみた。よく夢を実現する為にはその夢を書き記し、毎日目に触れる場所に掲げることだと言う。確かに、事を為す時に自分の頭の中だけで考えているだけでは何も起こりはしない。ここに紡ぎだす未来への課題を記し、連盟運営の共有課題としたい。

普遍である課題の第一は、起こるべくして起こる事故の撲滅と速やかなる救出技術の開発である。IoTを取り入れるなど実効ある遭難件数削減への取り組みを提唱する。

第二は、正しい知識と技術の伝承を行う人材の育成である。時代に即した人材育成方法を更に進化させ次世代を担うヒトへの継承を行う。同時に女性の活躍の場を拡大する。

第三は、山の動植物と共生するという意識の醸成である。自然に対する意識を変革するために自然共生の具現化を行う。

第四に、ITを駆使した山の情報ネットワークの精査である。正しい山の情報発信をベースに、山情報の倫理ともいうべき機能を如何に発揮させるかに取り組む。

第五は、**健全なる財源の確保と社会貢献**である。連盟運営の根幹をなす会員確保を第一と心掛け、これに尽力する一方で、様々な社会的なニーズ捉え各方面からの要望に応えていく。

お祝いの言葉

大阪府知事
松井 一郎

大阪府山岳連盟が創立七十周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴連盟は、登山を楽しむこともままならない、戦後の復興が始まった昭和21年に設立されましたが、以降、山や自然、登山を愛する人たちの技能や知識の普及・向上に精力的に取組まれ、今では府内約60団体が加盟するまでに成長されました。大阪の山岳登山の発展にご尽力されました貴連盟に深く敬意を表する次第であります。

この間、登山を楽しむ方々は着実に増えておりますが、特に昨今、健康づくりや自然とのふれあい志向の大きな高まりなどを受け、登山の経験のなかった中高年層の登山ニーズが非常に高まってきています。これに伴い、知識や経験、体力不足などによる山岳救助件数も急増しており、安全・安心な登山の推進に向けた取組が一層重要となっております。

このような中、貴連盟におかれましては、組織に属されない個人登山者が安全に登山活動できるようパーソナル会員制度を創設し、山の情報を提供されたり技術の習得・知識の習熟の支援、活動サークルの紹介などを行われるとともに、生駒山系・金剛山系におけるチャレンジ登山大会などの事業を通じて、安全な登山の普及啓発に取組まれておられます。

これらの活動は、みどりや自然の魅力を感じる機会の増加、良好な森林・自然環境の保全を目指しております大阪府にとりましても大変意義のあることと考えております。今後も変らぬお力添えを賜りますようお願い申しあげます。

終わりに、貴連盟が七十年にわたり築かれた輝かしい実績を礎として、今後ますます発展されますとともに、皆様の一層のご活躍を心からお祈り申しあげまして、お祝いの言葉といたします。

おめでとうございます

公益社団法人日本山岳協会
会長　八木原 圀明

大阪府山岳連盟の皆さん、創立70周年誠におめでとうございます。先進的、斬新なアイディアで日本の登山界の中でも有数な活動を続けて来られた皆さんに対し心よりの敬意を表しお祝いを申し上げます。これまでの70年の活動を改めて概観させて頂いても皆さん方のやってこられたことの先見性、見識の高さがわかります。

先の大戦前から先駆的な登山愛好者が積極的な登山活動をして来られ、今の日山協の前身である「日本山岳聯盟」の結成にも関西の否、西日本登山界の雄として当然参画して来られたわけです。

15団体で発足し60年誌によれば昭和50（1975）年で120団体、平成27（2015）年では62団体へと日本中の岳連、協会と同じ途上にあるようですが活発な活動を続けられ、日本の登山界を牽引し続けて頂きたいと思います。

私的な話ですが私の初ヒマラヤ登山はダウラギリⅣ峰でした。現貴連盟の中村久住会長は1970年春の関西登高会隊のダウラギリⅣ峰隊員であり、初登頂をされた1975年春の大阪府岳連隊員でもありました。

私は群馬岳連隊員として1971年春に偵察をし、翌72年春に隊員1人を失くして失敗し、1975年秋にカモシカ同人隊で登頂するという経験の中で大阪府岳連の皆さんには特別の縁も感じております。

今後も日本の登山界のモデル岳連として広く大きな活動を祈念してお祝いの言葉といたします。

祝　　辞

近畿地区山岳連盟
会長　國松 嘉仲

このたび大阪府山岳連盟が創立70周年をお迎えになりましたこと、心からお喜び申し上げます。

創設された昭和21年と言えば、敗戦の憂き目にあいどん底の生活を強いられた時代でした。

そのような中、生きる希望を失わず登山をとおして明日を拓こうと、近畿でいち早く連盟を創設されました。

爾来、70年間、近畿地区はもちろん我が国の登山界を常にリードされ、ご活躍いただいておりますことに、改めて敬意を表します。

さて、ご承知のように、我が国の登山界を統括する（公社）日本山岳協会（日山協）は、本年４月から、法人名が「（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会」に変更されます。

その理由は、３年後に開催される東京五輪2020において、所管するスポーツクライミングが追加競技になったからです。

安全登山を第一に、山の環境と文化を守り、山岳スポーツの普及と振興を図る日山協が、どうして名称を変えなければならないのか、近畿地区山岳連盟は、「慎重であるべし」と訴えましたが叶いませんでした。

でも、私たちは、常に「近畿は一つ」の思いで、近畿独自の事業に取り組み、我が国の登山界の発展のために、大阪府山岳連盟の皆さんの山に対する熱情を常に感じながら、これからも全国に発信してまいります。

結びに、創立以来多大なご努力、ご貢献いただいた皆様に心より敬意を表し、今後ますますご活躍くださることを祈念申し上げます。

そして、願わくば、このたびの貴連盟創立70周年が、将来の飛躍的な発展の布石として意義深いものとなりますことを切に願って止みません。

■創立70周年・一般社団法人設立記念式典



創立70周年と一般社団法人への移行を記念する式典を5月28日（土）、約120名ご臨席のもと「ヒルトン大阪・真珠の間」にて行いました。歓談では、旧交を懐かしむ姿や新旧を超えた交流がテーブルを越えて行われ、70周年という節目と一般社団法人設立という門出に相応しく、会場は大いに賑わいました。



ご来賓の㈱モンベル代表取締役会長辰野勇氏が飛び入りで横笛の演奏を披露されると、賑わっていた会場が幻想的な雰囲気に包まれるなど、式典に華を添えていただきました。







ザックの重さは何kg？アトラクションでの「重量当てクイズ」。13kg～20kgと答えは意外とバラつきましたが正解は17kg。ホテルで担ぐのは、ちょっと勝手が違いますね。



70周年記念紙
（A3 4/4）



記念品
モンベルGORE-TEXメドーキャップ

■永年在籍団体感謝状贈呈

関西登高会、やまゆき会、泉州山岳会、関西山岳会（順不同）

■功労者感謝状贈呈

石塚彰、城隆嗣、山並久次、河本武久、横山忠信、山田悟史、石水久夫、宮崎一之、足立俊郁、有永寛（敬称略、順不同）



▲チャレンジ登山大会協力団体感謝状贈呈

パナソニック山岳会、大阪うすゆき山の会、雲山会、NPO法人二剛会、なにわ山岳会、平成山好会、大阪青雲会、オーマウントニアリングクラブ、大阪アマチュアスキークラブ、近畿山行会、大阪土佐堀山岳会、やまゆき会（順不同）

■70周年記念登山大会「金剛山に集まろう！」



〈ご参加いただいた会、方々〉雲山会、大阪うすゆき山の会、大阪青雲会、大阪土佐堀山岳会、オーマウントニアリングクラブ、オールマウンテンクラブ、近畿山行会、好山好会、金剛山剛友会、関西の山＆ときどきアルプス、青穂クラブ、NPO法人二剛会、パナソニック山岳会、平成山好会、やまゆき会、パーソナルメンバー、山スクール生（順不同）

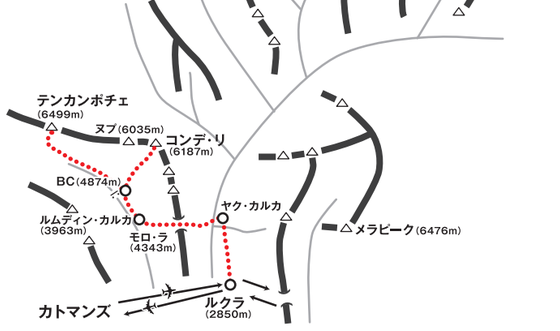
創立70周年記念事業、及び「山の日制定」登山として、大阪府山岳連盟の仲間が「金剛山」を各コースから登り、山上に集う登山大会を11月6日（日）、金剛山香楠荘～ちはや園地で開催致しました。当日は、寒波の影響で肌寒い一日となりましたが、山岳会15団体、パーソナルメンバー17名、山スクール生4名など総勢189名が山上に集まり、旧交を温め親睦を深めました。



記念品は、高級ホイッスルと高機能タオル。

■70周年記念海外登山

創立70周年を記念して、ネパール・ヒマラヤ6000m峰の登頂と、ネパール国の震災復興支援を目的とした遠征を、バリエーション隊、一般ルート隊の2パーティ編成しました。エベレスト街道から西のモロ・ラ峠を越え、ラムディン谷に降り立ち、静かな谷と大きな滝を越え、約1週間のキャラバンで両隊のベースキャンプを設営します。



■バリエーション隊

隊員のヒマラヤ高所での登攀、バリエーションルートからの登頂を目的とし、今後の大阪岳連にヒマラヤ登山の流れを築きたい願いで隊を結成しました。



■ネパール・ヒマラヤ、ロールワリン山群
テンカンポチェ（Thyangmoche、6499m）南稜（仮称）
■先発隊3月18日、後発隊3月25日～4月30日
■登頂予定日：4月15日～17日
■隊長：岩田修一（関西蛍雪山岳会）、登攀L：森田正（大阪アルデ山岳会）、装備：中嶋宏幸（大阪アルデ山岳会）、食料：野木尚子（関西蛍雪山岳会）、記録：田口幸夫（関西蛍雪山岳会）、ガイド：2名

■一般ルート隊

隊員のヒマラヤ高所体験、今回の登山をステップにして、今後の大阪岳連を牽引していく岳人に育ってもらいたい思いで隊を結成しました。



■ネパール・ヒマラヤ、ロールワリン山群
コンデ・リ（Kongde、6187m）…1972年オーストラリア隊初登頂
■先発隊3月18日、後発隊3月25日～4月15日
■登頂予定日：4月4日
■隊長：岩田修一（バリエーション隊兼務）、登攀L・記録：小林玉喜（大阪アルデ山岳会）、装備：和田卓雄（パーソナル）、食料：鷲本晴香（大阪土佐堀山岳会）、ガイド：2名

■70周年記念海外トレッキング



創立70周年を記念とネパール国の震災復興支援を目的とした、アンナプルナ内院トレッキングを行います。

■ネパール・ヒマラヤ
アンナプルナ内院～マチャプチャレ
■3月20日～4月5日
■L：中村久住（大阪うすゆき山の会）、鎌倉征三（パーソナル）、澤森順治（パーソナル）、呉屋進（大阪低山跋渉会）、中村司（大阪うすゆき山の会）、中川委紀子（大阪うすゆき山の会）、坂井つや子（大阪うすゆき山の会）、宮中瑞穂（Oマウントニアリングクラブ）

10年間のあゆみ

平成19年

■4月～7月　大阪大学WV部出前講習
創部60周年記念のインドヒマラヤ遠征に向けた訓練を4回にわたって支援し、秋に無事登頂したとの報告は大きな喜びでした。

■5月26日、27日　第1回読図講習会
（二上山～岩屋峠付近）

山の事故で最も多い道迷い事故。それを未然に防ぐことを目的に机上と実地講習を初めて行い、予想以上の参加者数にニーズの大きさを認識、継続的に行う事としました。

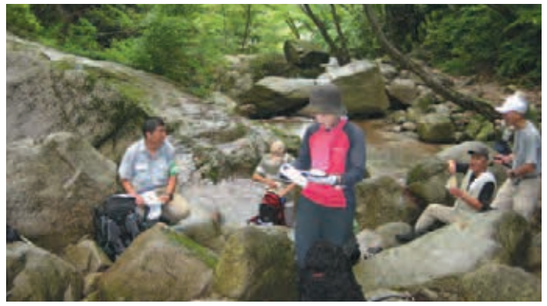


▲10月28日
第1回生駒チャレンジ登山大会
（私市水辺のプラザ～高安ケーブル駅）

初心者や親子連れなどにも気軽に参加いただけるようにと、生駒スカイラインの府民の森をつなげた楽しいコースを設定し、約1000名の参加者に楽しんでいただきました。

平成20年

■7月19日、20日
第63回国民体育大会近畿ブロック大会（滋賀県）
山岳競技がボルダリングとリードクライミングのみになった第1回大会は、成年男女とも一位通過し少年男子とともに「チャレンジおおいた国体」出場を果たしました。



▲8月24日　第1回パーソナル山行
（比良山系・魚止めの滝～大摺鉢～貴船ノ滝）

「安全・安心・あこがれの山」をテーマに、パーソナルメンバーの親睦山行を行うことにしました。今では月例山行、ビギナーチーム、ビスタリーチームなど毎月多彩な企画山行を行い、メンバーの活性化につながっています。

■11月8日、9日
日本山岳協会自然保護委員総会主管（生駒山系）
「里山の保全と活用」を大会スローガンに掲げて連盟行事として主管し、全国22都府県から109名をお迎えして自然環境に関する意見交換を行い、生駒山系にて里山の重要性を提言しました。

平成21年

■1月16日　新年交歓会（難波スイスホテル）
会員のご協力によって2つのチャレンジ登山事業が軌道に乗り、多くの会員の方々の協力に、感謝の意味を込めて初めてシティホテルを利用して開催しました。

■4月　競技・クライミング委員会発足
クライミング委員会と国体委員会を統合し、活動内容を整理するとともにムダを排除した体制にしました。



▲6月5日
UIAA国際山岳連盟登山委員会スティーブ・ロング氏来阪
UIAA国際山岳連盟登山委員会 訓練標準化準備委員会座長スティーブ・ロング氏が来日し、大阪においても勤労者山岳連盟、近畿地区山岳連盟との共催で、氏の山歴やUIAAでの活動について講演いただき、親睦を深めました。



▲6月13日　ハイキング委員会復活
登山愛好者の拡大に寄与することを目的に自然保護委員会より独立し、大阪50山のシリーズ化や、脚を延ばしたハイキングなども積極的に行うことにしました。記念すべき初回は生憎の雨模様となりましたが、神秘的な高野三山を巡りました。

■10月29日　日韓友好岳人交流会
仁川廣域市山岳連盟から役員はじめ13名もの方が来阪され、KKRホテルで行った交流会で旧交を温めました。



◀秋の叙勲
城隆嗣氏（元会長、現顧問）
山岳関係者としては初めて、旭日双光章（スポーツ振興功労）が授与されました。これは、連盟のみならず日本の登山界にとっても栄誉ある明るいニュースとなりました。

平成22年





▲6月13日、14日
千早赤阪村「希望の虹」清掃協力
千早赤阪村などより壁画の「希望の虹」を再生したいとの要請があり、入念な検証とのべ約100名（20団体）、及び地元消防団などの協力を得て行いました。描かれた壁画が見事甦り、地元の方から感謝の言葉をいただきました。また会員相互の山仲間としての通い合うものを感じた一瞬は、掛け値なしに嬉しいものでした。



■4月　技術委員会発足
アルパインクライミングにおける様々な疑問点検証への取り組みとして発足し、年間に机上検討10回、実地技術検証会3回を行いました。特に国立登山研修所にて実施した技術検証会には他都府県からも10名が参加され、関心の高さが伺えました。



▲7月19日、20日
第64回国民体育大会近畿ブロック大会主管
大阪主管として盛り上がった大会は、「ほしだ園地」と「ナカガイクライミングジム」を舞台に熱戦が繰り広げられ、成年女子が抜群の強さを見せ総合1位。続いて行われた「トキめき新潟国体」でも総合3位の快挙を成し遂げました。

平成23年

■5月8日　第1回御堂筋オープンフェスタ協賛
「Rock Climbing OSAKA JAPAN 2011 namBa HIPS CUP」支援

御堂筋オープンフェスタを彩るイベントのひとつとして企画された国際クライミングコンペを支援しました。御堂筋に面したビル、ナンバヒップスを舞台に国内外のトップクライマー18人が競いあい、歩行者天国となった沿道から大きな歓声が上がりました。



▲11月6日　65周年記念六甲集中登山実施
パーソナルメンバーが中心となって、皆さんイチオシの11コースから72名が六甲山最高峰を目指しました。午後からの式典は生憎の雨でしたが、全員で安全登山宣言を行いパーソナルの発展を祈りました。

平成19年～平成23年



▲春秋　両チャレンジ参加者数合計最多

順調に参加者を伸ばす中、秋のチャレンジでは豪雨による登山道陥没など開催が危ぶまれましたが、ダイトレ2,574名、生駒1,339名と参加者総数が約4,000名に達し、過去最多を記録しました。

■10月

鈴鹿山系遭難対策協議会の発足に参加

鈴鹿や比良山系では事故者の大半が県外者ということもあり、事故の際の情報ネットワーク構築を目的として、関係する各山岳連盟との連携を取ると同時に、安全登山の啓発を行う事になりました。



▲11月11日　金剛山集中登山実施

パーソナル、ハイキング、自然保護の３委員会共催の企画は、朝から生憎の雨の中11のコースから125名が山頂を目指し、金剛山山頂に鎮座する大社造りの葛木神社にて安全登山を祈願しました。

■11月23日

第1回奥河内SEA TO SUMMIT支援

競技エリアが滝畑ダムから岩湧山頂上までという河内長野市が主催し、モンベルが協賛するカヤック、バイク、ハイクを組み合わせた競技会を支援しました。



▲1月18日　大阪50山完登

（第177回岳連ハイキング、神於山）

2007年から始まった「大阪50山」がついに完登。最後の山頂は30分であっけなく着きましたが、大阪50山執筆者の一人、佐藤政明さんから逸話もお聞きすることができ、思い出にも花が咲いた小春日和の一日でした。



▲4月15日　山スクール開校

山岳会に所属しない一般登山者が増加する中、一年をかけて座学や実技、また研修登山を通して基礎から体系的に登山を学び、安全登山を目指す仕組みがスタート。実力や目的に応じた3クラスで、山登りのイロハや縦走、岩稜登攀といった技術の取得を目指すカリキュラムが組まれました。



▲8月1日　山岳おおさか リニューアル（通巻205号）

一般登山者への啓発と会員向け情報の2版に分離し編集を一新し、一般の方へは金剛山各施設、ピトンの小屋など従来の設置場所に加え、ご厚意により市内登山専門店6店にも設置しています。

■4月　昭文社「山と高原地図（金剛・葛城）」改訂版編集受託

昭文社からの打診に応えて2016年度版からの改訂版編集調査を受託し、実地踏査を会員のご協力により行いました。踏査は毎年継続して行い、その結果は改訂版に反映されています。

■5月20日～8月31日

ネパール大地震救援募金寄付50万円

会員などへの呼びかけにより約40万円が寄せられ、50万円が日山協を通じて現地に贈られました。尚、70周年記念事業のひとつ海外遠征も、現地支援の一環として行います。

■9月26、27日

第3回近畿トレッキングフェスタ主管

近畿地区山岳協会が持ち回りで主管。滝畑キャンプ場では、高体連登山部の高校生達や先生方がキャンプファイヤーを囲んでひと時を過ごし、翌日は金剛山に場所を移して、葛木神社にて安全登山を祈願しました。



◀11月～翌3月　「大阪てくてく山めぐり」産経新聞に連載

産経新聞カラー面に、ハイキング情報を19週にわたって連載しました。一般社団法人化に向けて、新しい媒体として大阪の山の魅力や歩く楽しさを伝えました。

平成24年

平成25年

■法規委員会が発足、活動が本格化

一般社団法人化のため組織基盤の整備を行おうと平成24年度に法規委員会を発足し、諸規定の見直しの一環として1月に経費支給規定を定めました。

■4月

ほしだ園地クライミングウォール

利用料の有料化に伴う影響も懸念されましたが、スポーツクライミングの広がりもあって年5回の利用者講習会、体験講習会にそれぞれ45名の参加者があり、心配は杞憂に終わりました。

■6月29、30日

（公社）日本山岳協会

遭難対策委員研修会兼総会 大阪で開催

公益社団法人となった日山協の、初めての遭対研修と総会が大阪で行われ、現状の問題について活発な議論や提案がなされました。

平成24年～平成28年

平成26年



▲2月8～9日

第70回冬山講習会（西穂高小屋周辺）

黎明期より続いている伝統的事業は70回の節目を迎え、受講生34名、講師11名など計47名が参加しました。また参加者には、70回記念としてトートバッグが手渡されました。

■5月19日　役員新体制スタート

総会にて、法人化移行が正式に決定

山並久次氏が会長を退任し、後任に中村久住氏が就任。また、平成28年度に一般社団法人を目指す中でパーソナル会員の声も反映できるようにと定款を改定し、パーソナル会員から初めて理事を選出しました。

平成27年



▲4月13日　第40回大阪府チャレンジ登山大会 スタート会場変更

道の駅「當麻」で開催してきたスタート会場を、葛城市の協力により「ゆうあいステーション」向いにある「ふれあい広場」に変更しました。



◀5月25日

第10回ほしだカップ開催

近畿各府県を中心として3カテゴリーに76名が参加した大会は小中学生の参加者が増え、将来のアスリートへと希望をつなぐ盛り上がりのある大会となりました。

平成28年



▲5月28日

創立70周年、一般社団法人設立記念式典

城隆嗣顧問ご発声により乾杯

（詳報は5～6ページをご覧ください）



▲7月　一般社団法人化に移行

（写真は5月28日に行われた設立総会）

■大阪府チャレンジ登山大会



▲第33回大会
修験道の名残もあるダイトレルート。行者さんも参加されました。



▲第34回大会
第39回までは、二上山の裾にある道の駅がスタート会場でした。

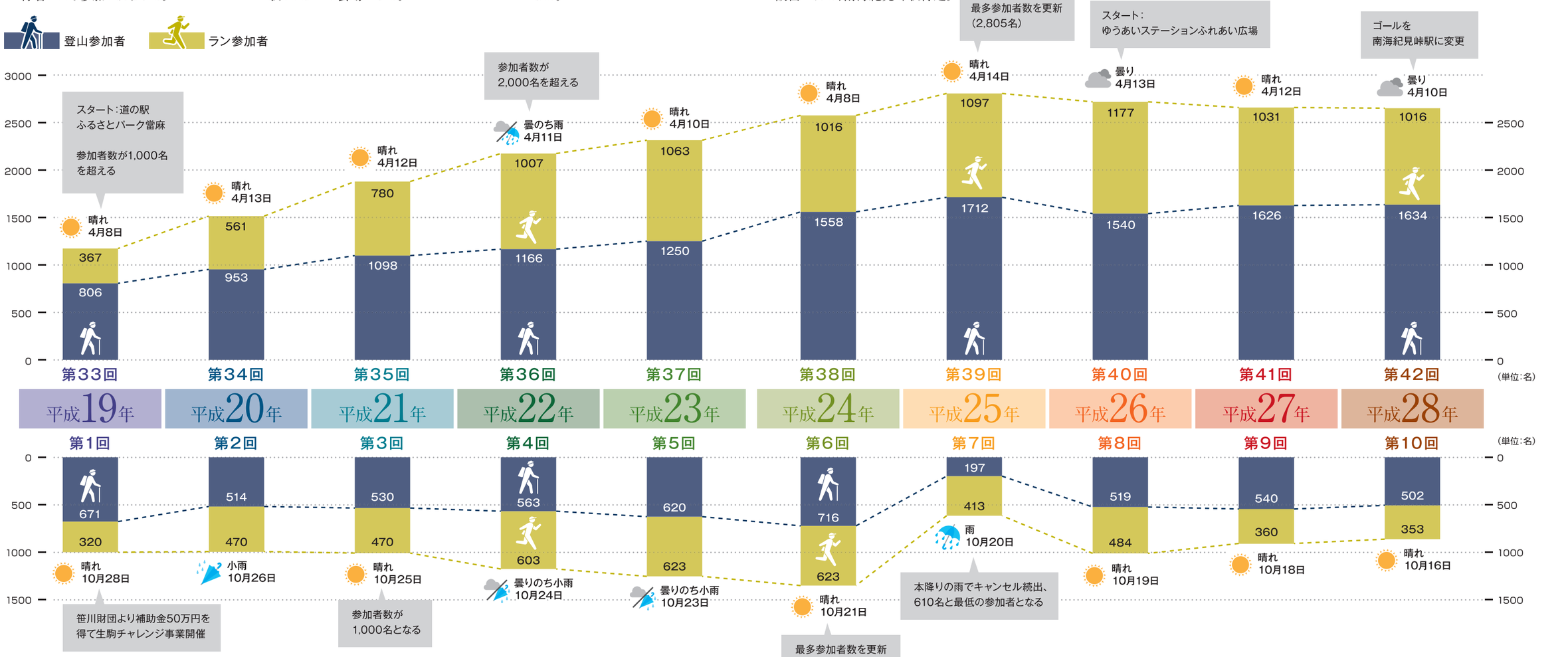


▲第40回大会
第41回までは、南海天見駅が上級ゴールでした。



▲第42回大会
地元の熱い歓迎を受けてゴール会場が設営された、南海紀見峠駅付近。

	合計	登山	ラン	男子優勝	壮年優勝	女子優勝
第33回	1,173	806	367	福井　敦	時谷政弘	佐藤光子
第34回	1,514	953	561	武田直樹	太田利一郎	佐藤光子
第35回	1,878	1,098	780	津田信浩	岩田賢一	野村泰子
第36回	2,173	1,166	1,007	武田直樹	岩田賢一	野村泰子
第37回	2,313	1,250	1,063	大杉哲也	石塚正史	野村泰子
第38回	2,574	1,558	1,016	大杉哲也	谷北勇二	福井　愛
第39回	2,809	1,712	1,097	大杉哲也	三原謙二	坂根充紀栄
第40回	2,717	1,540	1,177	大杉哲也	武田直樹	岡本恵子
第41回	2,657	1,626	1,031	大杉哲也	武田直樹	岡本恵子
第42回	2,650	1,634	1,016	大杉哲也	武田直樹	吉住友里
				※10年間の最高タイム	最高タイム 3:13:26	最高タイム 3:33:42	最高タイム 3:54:15



■生駒チャレンジ登山大会



▲第6回大会
最多参加者を記録した日は、夜明け直後から参加者が詰めかけました。



▲第7回大会
朝から本降りの雨で気温も低く、受け付けをせず引き返す人が多くいました。



▲第8回大会
前年とは打って変わって好天に恵まれ、参加者の声が青空に響きました。



▲第10回大会
親子で上級ゴール。満面の笑みが達成感を物語っていますね。

	合計	登山	ラン	男子優勝	壮年優勝	女子優勝
第1回	991	671	320	岡本靖朗	石塚正史	松本晴美
第2回	984	514	470	影本哲哉	石塚正史	松本陽子
第3回	1,000	530	470	武田直樹	古野修	福井愛
第4回	1,166	563	603	大谷篤	古野修	河崎千里
第5回	1,243	620	623	大杉哲也	石塚正史	出口亜美
第6回	1,339	716	623	植村祐樹	古野修	前野智子
第7回	610	197	413	植村祐樹	山田和信	西尾彩
第8回	1,003	519	484	植村祐樹	武田直樹	内田夏苗
第9回	900	540	360	加藤秀昭	山田和信	福永佐枝子
第10回	855	502	353	加藤秀昭	山田和信	橋本智子
				※10年間の最高タイム	最高タイム 2:13:00	最高タイム 2:24:30	最高タイム 2:50:28

● 冬山講習会

第63回
2月9夜～12日
八ヶ岳行者小屋
（講習生22名）

第64回
2月8夜～11日
乗鞍位ヶ原周辺
（講習生24名）

第65回
2月6夜～8日
大山元谷周辺
（講習生24名）

第66回
2月19夜～21日
宝剣岳・千畳敷周辺
（講習生21名）

第67回
2月10夜～13日
西穂山荘周辺
（講習生24名）


第63回：赤岳頂上付近


第67回：雪洞を体験


第70回：テント撤収し夜明けとともに出発

第68回
2月10日夜～12日
立山登山研修所・鍬崎山
（講習生39名）

第69回
2月8日夜～11日
八ヶ岳赤岳鉱泉
（講習生23名）

第70回
2月7夜～9日
西穂山荘周辺
（講習生34名）

第71回
2月6夜～8日
大山
（講習生14名）

第72回
2月5夜～7日
乗鞍位ヶ原周辺
（講習生14名）

冬山講習会70回のあゆみ

昭和22年、戦前の「山の集い」で開催の
　冬期冬山講習会を復活、30数名参加
昭和23年、第8回登山スキー講習会を大阪府スキー連盟、
　大山山岳会で共催。講師藤木九三氏など。
昭和25年、第10回登山スキー講習会（大山）
昭和35年、第16回冬山登山講習会（大山）、85名参加。
　在阪の登山、スキー店が支援
昭和39年、第20回冬山登山講習会（大山）
昭和47年、第28回冬山登山講習会（御岳）200名参加
昭和49年、第30回冬山登山講習会（御岳）
平成15年、第60回冬山登山講習会（大山）


第71回：並んで雪面整地


第72回：朝焼けを浴びるチームレッド！

● 安全登山の集い

第14回
11月10日
佐伯謙一氏
「我が人生、劔と共に」
劔岳早月小屋管理人。
元富山県警山岳救助隊員。（参加者70名）

第15回
11月15日
竹腰藤年氏
「山登りは常に初心者であれ！」
北飛山岳救助隊隊長。
（参加者90人）

第16回
11月14日
溝手康史氏
「登山における
　法的責任」
弁護士・登山家
（参加者100名）

第17回
11月13日
映画：「遭難　谷川岳の記録」昭和32年度岩波映画制作
講演：船木上総氏「低体温症の予防と対処」
苫小牧東病院副院長
（参加者映画50名、講演60名）

第18回
11月12日
猪熊隆之氏
「気象遭難の
　予測と予防」
気象予報士、
（参加者140名）


第14回

第19回
11月10日
村越真氏
「なぜ道に迷う。迷ったらどうする。」
静岡大学教授。
（参加者150名）

第20回
11月16日
山本正嘉氏
「体力不足が登山事故を招く」
鹿屋体育大学教授、
（参加者140名）


第20回

第21回
第21回
11月15日
谷口けい氏
「終わりなき未知との遭遇～世界の山からニッポンの山を思う」
女性アルピニスト
（参加者102名）


第21回

第22回
11月14日
角谷道弘氏
「頑張らなくてもいいから頑張ろう」
プロガイド
（参加者112名）

第23回
11月12日
服部文祥氏
「サバイバル登山、山に対してフェアでありたい」
作家・登山家
（参加者53名）



● 読図講習会

平成19年
5月26、27日
二上山～岩屋峠付近
（講習生39）


平成19年

7月7、8日
（講習生25名）

平成20年
5月24、25日
道場～千刈ダム周辺
（講習生27名）

6月21、22日
（講習生13名）

平成21年
5月16、17日
道場周辺
（講習生37名）

6月20、21日
（講習生18名）

● 救急法講習会

講師・恵秀彦氏


平成23年

平成22年
5月15、16日
武田尾周辺
（講習生19名）

平成23年
5月21、22日
東六甲縦走路、岩倉山周辺（講習生38名）


平成23年

6月19、20日
（講習生54名）
勤労者山岳会との共催事業となる

7月2、3日
（講習生53名）

平成24年
5月19日、20日
仁川～甲山周辺
（講習生42名）

平成25年
5月18、19日
六甲、岡本周辺
（講習生37名）


平成26年

6月16、17日
（講習生50名）

6月22、23日
（講習生32名）


平成27年

平成26年
5月17、18日
六甲、摩耶山周辺
（講習生38名）

平成27年
5月16、17日
六甲山系
（講習生43名）


平成27年

6月14日、15日
（講習生39名）

6月13、14日
（講習生41名）

平成28年
6月11、12日
六甲山系
（講習生50名）

7月9、10日
（講習生44名）


平成28年

●無雪期レスキュー

10月21日
百丈岩
岩場レスキュー
（講習生35名）



平成20年：雨天決行した

10月5日
百丈岩
岩場レスキュー
（講習生15名）

10月4日
百丈岩
岩場レスキュー、
縦走レスキュー
（講習生 計44名）



平成22年

10月3日
百丈岩
岩場レスキュー
（講習生11名）
縦走レスキュー
（講習生15名）

10月2日　百丈岩
セルフレスキュー基本
セルフレスキュー応用
（講習生 計19名）
縦走レスキュー
（講習生16名）



平成23年

10月14日　百丈岩
セルフレスキュー基本、
セルフレスキュー応用
（講習生 計24名）
縦走レスキュー
（講習生14名）



平成24年

10月5日　百丈岩
セルフレスキュー基本
セルフレスキュー応用
（講習生 計22名）
縦走レスキュー
（講習生11名）

10月5日
百丈岩
セルフレスキュー基本
セルフレスキュー応用
（講習生 計19名）
縦走レスキュー
（講習生16名）



平成28年

10月4日
百丈岩
セルフレスキュー基本、
セルフレスキュー応用
（講習生 計11名）
縦走レスキュー
（講習生11名）

10月2日
百丈岩
セルフレスキュー基本
セルフレスキュー応用
（講習生 計17名）
縦走レスキュー
（講習生12名）

平成28年



●積雪期レスキュー

2月25日
びわ湖バレイ
（講習生 約20名）



平成19年

2月24日、
びわ湖バレイ
（講習生17名）



平成20年

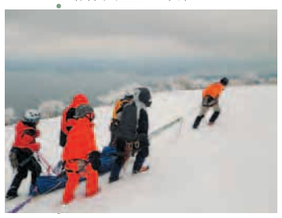
3月1日
びわ湖バレイ
（講習生17名）

雪不足のため中止



平成23年

3月6日
びわ湖バレイ
（講習生41名）



平成24年

1月15日
びわ湖バレイ
（講習生34名）



平成25年　夜に座学を行う

2月16～17日
マキノ高原スキー場
（講習生24名）



平成26年　2日目は大雨、体育館での実技となった

2月1日～2日
マキノ高原スキー場
（講習生22名）



平成27年

1月31日～2月1日
マキノ高原スキー場
（講習生21名）



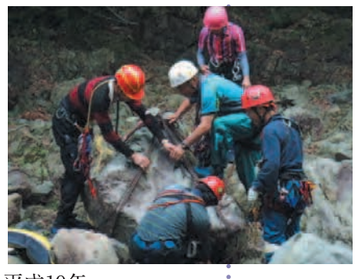
平成28年　雪不足のため急遽開催地を変更するが、雪を集めるのに一苦労。

2月20～21日
奥伊吹周辺（米原市）
（講習生17名）

●沢レスキュー

平成19年

6月30日
台高山脈・三ノ公
（講習生25名）



平成19年

平成20年

7月13日
台高山地・黒石谷
（講習生16名）

平成21年

7月12日
比良山系・明王谷
（講習生9名）



平成21年

平成22年

7月25日
比良山系・楊梅の滝
（講習生19名）



平成22年

平成23年

6月19日
東六甲・逢山峡周辺
（講習生18名）

●登山技術研修会

平成24年

7月8日
裏六甲・蓬莱峡
（講習生10名）

平成25年

実施せず

平成26年

7月6日
裏六甲・蓬莱峡
（講習生27名）

平成27年

7月5日
六甲・地獄谷
（講習生19名）

平成28年

7月31日
六甲・地獄谷
（講習生25名）

第1回
3月27日
百丈やぐら
テーマ：
①トップ墜落時の支点に掛かる衝撃荷重
（参加者22名）

第2回



第3回



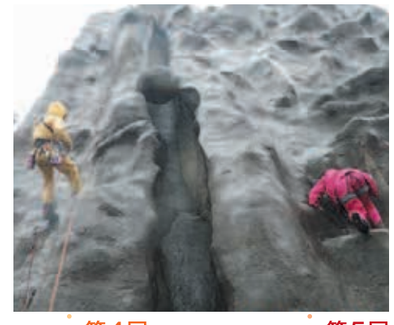
第2回
3月25日
神戸登山研修所
テーマ：
①流動分散システム
（参加者25名）

第4回



第3回
3月31日　百丈やぐら
テーマ：①フォロワー確保時の衝撃荷重
②フォロワー確保時のロープ・カラビナ反転の危険性
③懸垂下降での支点に掛かる荷重
（参加者23名）

第5回



第4回
3月30日
神戸登山研修所
テーマ：
①アルパインクライミングでの確保
（参加者24名）

第6回



第5回
3月29日
神戸登山研修所
テーマ：
①オートロック式ムンターヒッチの検証
②懸垂下降でのアクシデント
③各種ビレイ器具の問題点（参加者11名）

第6回
3月27日
神戸登山研修所
テーマ：
①懸垂下降時のレスキュー
②新しいフリクション・ヒッチの紹介
（参加者15名）

●ハイキングと自然保護活動など

平成19年

2月4日	第111回　㉓高尾山㉒高安山
2月18日	第112回　自然観察会　平城京・水上池
8月26日	山の水質環境調査
4月14日	第113回　⑯ポンポン山⑰釈迦岳
4月19日	緑の募金活動45,226円
6月3日	清掃ハイキング （生駒山、滝畑ダム、箕面公園）
6月17日	第114回　㉝岩湧山
9月9日	山の水質環境調査
9月30日	第19回　藤木祭
10月14日	第115回　るり渓～①深山

平成20年

4月20日	第116回　㊴和泉葛城山
4月29日	緑の募金活動37,689円6月1日
6月1日	清掃ハイキング（生駒山、箕面公園）
6月15日	第117回　㊾泉南・飯盛山
7月6日	山の水質環境調査
8月3日	山の水質環境調査
8月24日	第118回　②剣尾山
9月9日	山の水質環境調査
9月28日	第20回　藤木祭
10月19日	第119回　⑳河内飯盛山
12月14日	第120回　㉛旗尾山㉚府庁山

平成21年

2月15日	第121回　㉙東条山㉘神福山
4月19日	第122回　⑨鴻応山～湯谷ヶ岳
4月29日	緑の募金活動48,300円
6月28日	第123回　④三草山
7月5日	山の水質環境調査
8月6日	山の水質環境調査
8月23日	第124回　㉕岩橋山
9月6日	山の水質環境調査
9月27日	第21回　藤木祭
10月18日	第125回　③高岳
12月13日	第126回　龍王山～⑲交野山

平成22年

2月13日	第127回　⑬竜王山
（4月1日）	（ハイキング委員会活動開始）
4月18日	第128回　㊳三国山㊱槇尾山
4月29日	緑の募金活動39,000円
6月13日	第129回　高野三山
7月4日	山の水質環境調査
8月1日	山の水質環境調査
9月5日	山の水質環境調査
9月12日	第130回　柳生街道
9月26日	第22回　藤木祭
10月3日	第131回　㉟南葛城山
10月30～31日	第132回　南飛騨・下呂御前山（中止）
12月5日	第133回　㉗金剛山

平成23年

1月26日	第134回　愛宕山～地蔵山
2月22日	第135回　⑥歌垣山 （自然保護委員会主催の最終回）
3月20日	第136回　兵庫・大峰山
4月17日	第137回　三郎が岳～仏隆寺
4月29日	緑の募金活動65,100円
5月15日	第138回　㉖大和葛城山
6月19日	第139回　㉔二上山
7月3日	山の水質環境調査
7月29～31日	第140回　大滝山～蝶ヶ岳（北アルプス）
8月7日	山の水質環境調査
8月28日	第141回　比良・白滝道
9月4日	山の水質環境調査
9月11日	第142回　丹後・大江山
9月25日	第23回　藤木祭
10月30日	第143回　㊻俎石山㊼大福山
11月20日	第144回　紅葉の吉野山
12月4日	第145回　㉑生駒山

平成24年

1月22日	第146回　赤坂山スノーシューハイク
2月26日	第147回　⑭阿武山
3月17日	山野草保護の観察会
4月1日	第148回　㊺雲山峰
4月29日	緑の募金活動52,000円
5月27日	第149回　龍門山
6月3日	清掃ハイキング（枚岡公園周辺）
6月24日	第150回　⑦妙見山⑧高代寺山
7月28日	山の水質環境調査
8月5日	山の水質環境調査
8月26日	第151回　⑱若山
9月2日	山の水質環境調査
9月9日	第152回　㊷燈明ケ岳㊶高城山
10月7～8日	第153回　焼岳と大正池（北アルプス）
11月2日	第154回　リトル比良縦走
12月9日	第155回　明神ヶ岳～黒柄山

平成25年

1月27日	第156回　霧氷の三峰山
3月17日	第157回　白髭岳～松尾山
4月21日	第158回　㉞一徳坊山
4月29日	緑の募金活動55,006円
5月19日	第159回　⑤小和田山
6月23日	第160回　⑪明ケ田尾山⑫石堂ヶ岡
7月7日	山の水質環境調査
7月20～21日	第161回　武奈ヶ岳テント山行
8月4日	山の水質環境調査
8月24～25日	第162回　加賀・白山
9月1日	山の水質環境調査
9月29日	第24回　藤木祭
9月29日	第163回　六甲山（藤木祭）
10月27日	第164回　㊸雨山
11月10日	第165回　⑩五月山
12月8日	第166回　金胎寺山～㉜嶽山

平成26年

1月25日	第167回　御殿山・雪山チャレンジ
2月16日	第168回　観音峰
4月6日	第169回　㊿高森山
4月29日	緑の募金活動42,895円
5月11日	第170回　鎧岳～兜岳
6月22日	第171回　㊹ボンデン山～お菊山
7月3～6日	第172回　尾瀬縦走と燧ヶ岳
7月6日	山の水質環境調査
8月3日	山の水質環境調査
9月7日	第173回　比良・攝鉢山
9月7日	山の水質環境調査
9月28日	第25回　藤木祭
10月26日	第174回　㊲岩雄山
11月8日	第175回　屋久島・宮之浦岳
12月7日	第176回　㊽札立山

平成27年

1月18日	第177回　㊵神於山
2月1日	第178回　高見山
4月18日	第179回　吉野山
4月29日	緑の募金活動43,272円
5月9日	第180回　鈴鹿・藤原岳～御池岳（中止）
6月21日	第181回　金剛山石ブテ東谷（沢歩き）
7月10～12日	第182回　北アルプス・燕岳（中止）
7月5日	山の水質環境調査
8月2日	山の水質環境調査
9月4～6日	第183回　南アルプス・塩見岳
9月6日	山の水質環境調査
9月27日	第26回　藤木祭
10月24日	第184回　伊吹山（百名山と薬草温泉）
11月8日	第185回　六甲山（読図ハイキング）
12月6日	第186回　⑲交野山（大阪50山回顧と納山祭）

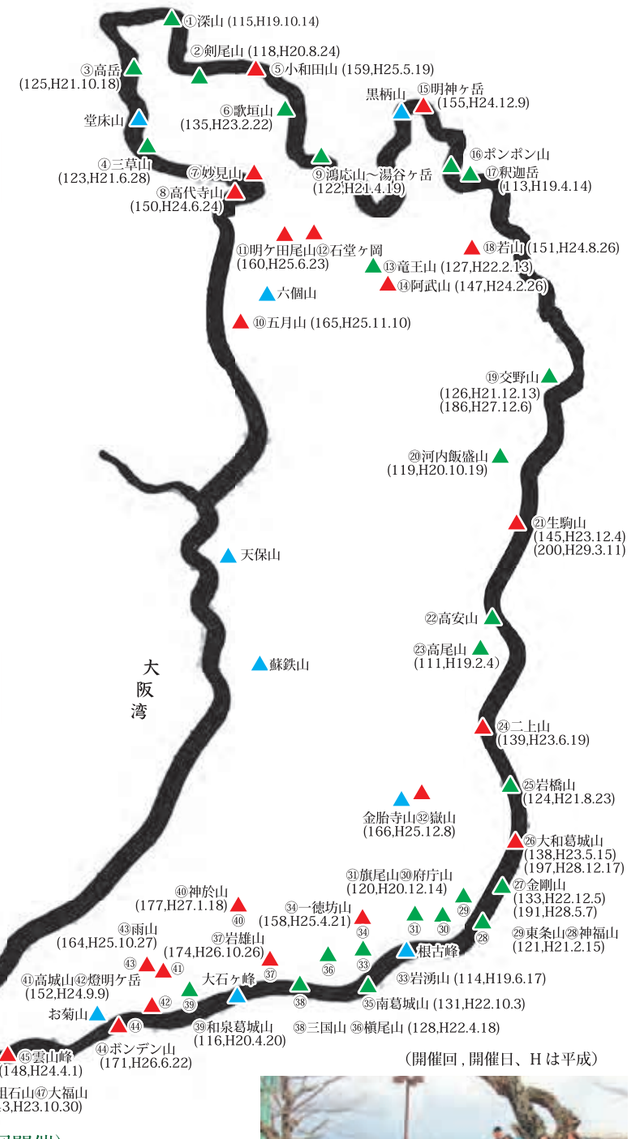
平成28年

1月16日	第187回　箕面教学の森 （年の初めの道迷い、読図ハイキング）
2月13日	第188回　愛宕山～竜ヶ岳 （樹氷ハイキング）
3月13日	第189回　高取山
4月16日	第190回　赤坂山
4月29日	緑の募金活動45,290円
5月7日	第191回　㉗金剛山
6月18日	第192回　須磨アルプス
7月3日	山の水質環境調査Z
7月16～18日	第193回 北八ヶ岳・蓼科山
8月7日	山の水質環境調査
8月11日	山の日制定記念清掃登山 （箕面こもれびの森～天上ヶ岳、やまゆき会合同開催）
9月3日	第194回　御破裂山から明日香
10月2日	第27回　藤木祭
10月22日	第195回　曽爾高原・倶留尊山
11月19日	第196回　近江富士・三上山
12月17日	第197回　㉖大和葛城山（忘年登山）

平成29年〈番外編〉

1月14日	第198回　金勝アルプス・鶏冠山（中止）
2月18日	第199回　三峰山（樹氷ハイキング）
3月11日	第200回　㉑生駒山（200回記念ハイキング）

※緑字▲はネイチャーハイキング大阪50山、自然保護活動など
※赤字▲は岳連ハイキング「大阪50山」
※▲は「大阪50山」に関連する山
※山名の前の数字は、「大阪50山（ナカニシヤ出版）」の番号です。
※藤木祭は（公社）日本山岳会関西支部、兵庫県山岳連盟との合同主催（平成24年は中止）



（開催回，開催日、Hは平成）



第200回ハイキング山行
生駒山（2017年3月11日）

●パーソナル山行記録（抜粋）

月例山行

2008年8月24日	比良山
2009年6月14日	荒島岳
2009年11月28～29日	大普賢岳
2010年1月24日	氷ノ山
2010年2月27～28日	上高地（スノーシュー）
2010年4月25日	向山
2010年5月30日	権現山～小女郎池
2010年6月27日	赤坂山（高島トレイル）
2010年7月17～18日	チブリ尾根から白山
2011年1月16日	武奈ヶ岳
2011年2月27日	明神平（スノーシュー）
2011年3月27日	藤原岳
2011年4月24日	湖北・大黒山
2011年5月15日	堂満岳
2011年7月16～18日	前穂北尾根
2011年7月29～30日	北アルプス（現地にて中止）
2011年9月23～25日	燕岳～槍ヶ岳（表銀座）
2011年9月25日	小女郎峠～蓬莱山
2012年1月7～9日	赤岳
2012年1月29日	和佐又山
2012年 2月25～26日	伊吹山
2012年3月9～11日	北八ヶ岳（スノーシュー）
2012年6月9～10日	富士山
2012年6月30～7月1日	弥山～八経ヶ岳
2012年7月27～30日	西穂からジャンダルム～槍
2012年9月22～23日	甲斐駒ケ岳
2012年10月28日	氷ノ山
2013年 1月20日	堂満岳
2013年1月27日	伊吹山
2013年2月23～24日	上高地（スノートレッキング）
2013年3月23～24日	乗鞍岳
2013年7月20～21日	八雲ヶ原～武奈ヶ岳（ツエルト泊体験山行）
2013.年9月21～23日	加賀白山（石徹白コース）
2013年10月5日～6日	御在所藤内壁前尾根
2013年10月13～14日	北八ヶ岳縦走
2013年11月9～10日	比良縦走
2014年1月25日～26日	伯耆大山
2014年2月22日～23日	伊吹山
2014年2月23日	赤坂山周回（高島トレイル）
2014年3月16日	横山岳
2014年3月22日～23日	八ヶ岳赤岳、阿弥陀岳
2014年5月24～25日	大杉谷～大台ケ原
2014年5月30日～6月1日	北穂岳東稜
2014年7月19～20日	白山（北縦走）
2014年9月27～28日	雨飾山
2014年10月25日	御在所藤内壁前尾根
2014年11月27日	稲村ヶ岳
2015年1月17日～18日	大山
2015年2月21～22日	氷ノ山
2015年2月28日～3月1日	荒島岳
2015年3月21日～22日	唐松岳
2015年3月28～29日	八ヶ岳・赤岳
2015年4月29日	竜ヶ岳（鈴鹿山系）
2015年7月25～26日	高妻山～戸隠山
2016年1月31日	赤坂山（スノーシュー）
2016年2月27～28日	大山
2016年3月26～27日	乗鞍岳
2016年4月23～24日	大台ヶ原・大杉谷
2016年7月16～18日	八ヶ岳（真教寺尾根）
2016年9月11日	弥山～八経ヶ岳
2016年9月16～19日	聖岳～茶臼山
2016年10月29～30日	観音平～赤岳


氷ノ山


チブリ尾根から白山


堂満岳


北八ヶ岳（スノーシュー）


西穂からジャンダルム～槍


伊吹山


八雲ヶ原～武奈ヶ岳


比良縦走


稲村ヶ岳


赤坂山（スノーシュー）


弥山～八経ヶ岳

遡行

2009年9月27日	明王谷（比良山系）
2010年8月28～29日	神崎川（愛知川渓谷）
2010年9月26日	奥の深谷（比良山系）
2011年8月27～28日	堂倉谷（台高山系）
2012年8月26日	白滝谷（比良山系）
2013年5月25～26日	旭の川（大峰山系）
2013年9月1日	前鬼川（大峰山系）
2014年8月31日	本澤川本流（台高山系）
2015年8月23日	耳川ウツロ谷（山スクール合同山行）


神崎川


本澤川本流

ビギナーチーム

2012年3月25日	霊仙山
2012年7月15日	峰床山（京都北山）
2012年8月26日	白滝道（比良山系）
2012年9月23日	須磨アルプス～長峰山
2012年11月4日	白髪岳～松尾山
2012年12月16日	金剛山（二河原辺桐山道）
2013年3月17日	蛇谷ヶ峰
2013年5月25日～26日	釈迦ヶ岳
2013年6月23日	峰床山（京都北山）
2013年8月18日	堂満岳
2013年10月27日	鶏冠山（湖南アルプス）
2014年5月18日	鎌ヶ岳
2014年6月22日	小野村割岳
2014年10月26日	武奈ヶ岳
2015年1月25日	比良釈迦岳
2015年2月8日	比良権現山～蓬莱山（スノーシュー）
2015年4月26日	天ヶ岳（京都北山）
2015年5月17日	釈迦岳（比良）


白滝道


峰床山


武奈ヶ岳

2015年6月14日	御在所岳
2016年5月15日	武奈ヶ岳～釣瓶岳
2016年6月18日～19日	大普賢岳
2016年11月20日	リトル比良
2016年12月18日	比叡山


御在所岳

ビスタリーチーム

2015年12月1日	ビスタリチーム結成、平日などにゆっくり歩く山行を企画
2015年12月12日	横山岳
2016年1月17日	諭鶴羽山
2016年3月21日	霊仙山
2016年4月14日	鈴鹿雨乞岳
2016年6月18日～19日	福井赤兎山
2016年8月5日～7日	白山中宮道縦走
2016年11月19～20日	御岳・飛騨頂上


諭鶴羽山


白山中宮道縦走

その他

2009年10月20日	登山家重廣恒夫氏と語る夕べ
2014年2月18日	海外登山と懇親会 吉田智美さん、木村正一さん

集中登山

2011年11月6日

65周年記念パーソナル六甲集中登山（72名）、曇りのち雨

1班	芦屋川～荒地山～東おたふく山～黒岩西尾根～	22名
2班	芦屋川～地獄谷～風吹岩～雨が峠～蛇谷～	8名
3班	阪急御影～五助堰堤～五助尾根～西おたふく山～	2名
4班	船坂橋バス停～船坂峠～鳥居茶屋～	4名
5班	白水峡霊園バス停～白水山～白水尾根～	5名
6班	神鉄有馬口駅～山王神社～逢山峡～小川谷～	3名
7班	阪急宝塚駅～塩尾寺～大平山～船越峠～	8名
8班	有馬バス停～紅葉谷出合～白石谷～	2名
9班	有馬バス停～落葉山～灰形山～湯槽谷山～	3名
10班	六甲ケーブル～山頂駅～ガーデンテラス～	6名
11班	船坂バス停～船坂峠～東六甲縦走路～	7名

2012年11月11日

金剛集中登山（ハイキング、自然保護委員会共催）、125名

雨でキャンセル続出

1班	千本道コース	7名	7班	太尾道コース	9名
2班	黒栂谷コース	10名	8班	ダイトレコース	6名
3班	タカハタコース	26名	9班	水分道コース	24名
4班	久留野コース	4名	10班	天ヶ滝新道コース	13名
5班	ロープウエイコース	3名	11班	二上山コース	3名
6班	青崩道コース	16名			

2015年10月25日

比良山集中登山（37名）

縦走から横断など比良山系のさまざまなコースを歩きました。

コース1	坊村から武奈ヶ岳経由イン谷口	17名
コース2	イン谷口～金糞峠～釈迦岳～イン谷口	3名
コース3	坊村～牛コバ～金糞峠～北比良峠～イン谷口	10名
コース4	24日 和邇～権現山～打見山～金糞峠～八雲ヶ原 25日 八雲ヶ原～武奈ヶ岳～蛇谷ヶ峰～朽木	7名

講習会

2008年9月28日	岩登り練習会初級・地獄谷
2008年12月7日	地獄谷
2009年4月26日	蓬莱峡
2009年11月7日	蓬莱峡
2009年12月5日	蓬莱峡（岩登り）
2009年12月20日	蓬莱峡（アイゼントレーニング）
2010年3月28日	ロックガーデン
2010年6月12日	不動岩
2010年10月2日	蓬莱峡
2010年11月6日	ロックガーデン
2010年11月28日	地獄谷
2010年12月4日	百丈岩
2011年4月23日	百丈岩
2011年5月8日	蓬莱峡
2011年6月5日	地獄谷（現地にて中止）
2011年11月27日	地獄谷
2012年5月27日	蓬莱峡
2012年11月18日	蓬莱峡
2013年5月12日	蓬莱峡
2013年5月19日	蓬莱峡
2013年6月16日	百丈やぐら
2013年12月1日	蓬莱峡
2014年4月20日	蓬莱峡
2014年6月28日	百丈岩
2014年11月30日	蓬莱峡(1)初級
2014年12月14日	ロックガーデン(2)中級
2015年5月24日	蓬莱峡
2015年6月28日	蓬莱峡
2015年11月22日	蓬莱峡
2015年12月13日	ロックガーデン
2016年5月29日	岩登り講習会（初級Ⅰ）
2016年6月26日	岩登り講習会（初級Ⅱ）
2016年11月27日	アイゼンピッケル練習会Ⅰ
2016年12月11日	アイゼン・ピッケル練習会Ⅱ


蓬莱峡（2009年11月7日）


地獄谷（2010年11月28日）


蓬莱峡（2011年5月8日）


百丈やぐら（2013年6月16日）


蓬莱峡（2013年12月1日）


ロックガーデン

成績、表彰一覧

ほしだカップ成績（優勝者）

年	オープン		ミドル		ビギナー	
	男　子	女　子	男　子	女　子	男　子	女　子
平成19年 第3回　5月13日	中原　栄	——	佐々木友弥	広瀬 友紀	志麻 弘三	前田くらら
平成20年 第4回　5月11日	伊藤 剛史	福地 志麻	中山 知靖	梶山沙亜里	三宅 孝志	本登 彩音
平成21年 第5回　5月10日	伊藤 剛史	中貝 星子	藤本 崇登	新城 綾那	生駒 恒一	櫓木あかね
平成22年 第6回　5月9日	中原　栄	梶山沙亜里	清水 裕登	広瀬 友紀	田嶋 瑞貴	田嶋あいか
平成23年 第7回　5月15日	山田　航	新城 綾那	小畑 佳功	加島 厚子	追田 樹波	山下 真由
平成24年 第8回　5月20日	清水 裕登	新城 綾那	大畑　亮	錦織 美里	小林 冬和	川辺 聖子
平成25年 第9回　5月26日	竹田 拓哉	——	児玉　致	森脇ほの佳	堀田　豪	藤村 奈緒
平成26年 第10回 5月25日	清水裕登	——	小林 冬和	島田 祐生	抜井 亮瑛	高橋　楓
平成27年 第11回 5月24日	原田　海	——	田中ゆうや	島田 祐生	川崎 拓海	荒居 美咲
平成28年 第12回 5月22日	西田秀聖	——	吉田 智音	谷井 菜月	芝原 隆人	抜井 美緒

国体成績

年	出場者	成績
平成19年　9月29日～10月2日 第62回　秋田わか杉国体	成年男子：（監督）湯浅貴弘、（選手）山口裕稔、福井敦、正田信一	登攀14位、縦走39位
平成20年　10月3日～5日 第63回　チャレンジおおいた国体	成年男子：（監督）湯浅貴弘、（選手）山口裕稔、伊藤剛史	リード11位、ボルダリング31位
	成年女子：（監督）髙橋潤美、（選手）中貝星子、福地志麻	リード9位、ボルダリング9位
	少年男子：（監督）森昌範、（選手）久下陸也、八木冬馬	リード15位、ボルダリング14位
平成21年　10月3日～5日 第64回　トキめき新潟国体	成年男子：（監督）湯浅貴弘、（選手）伊藤剛史、正田信一	リード6位、ボルダリング20位
	成年女子：（監督）髙橋潤美、（選手）中貝星子、梶山沙亜里	リード1位、ボルダリング3位
平成22年　10月2日～4日 第65回　ゆめ半島千葉国体	成年男子：（監督）山口裕稔、（選手）青木文則、久下陸也	リード21位、ボルダリング28位
	成年女子：（監督）松下喜美子、（選手）中貝星子、梶山沙亜里	リード3位、ボルダリング4位
平成23年　10月2日～4日 第66回　おいでませ！山口国体	成年男子：（監督）松下喜美子、（選手）山田航、正田信一	リード8位、ボルダリング18位
	少年男子：（監督）清水良祐、（選手）清水裕登、山本翼	リード15位、ボルダリング11位
平成24年　9月30日～10月2日 第67回　ぎふ清流国体	成年男子：（監督）湯浅貴弘、（選手）山口裕稔、久下陸也	リード14位、ボルダリング39位
	少年男子：（監督）清水良祐、（選手）清水裕登、藤脇祐二	リード6位、ボルダリング6位
平成25年　10月4日～6日 第68回　スポーツ祭東京	成年男子：（監督）山口裕稔、（選手）竹田拓哉、久下陸也	リード19位、ボルダリング31位
	少年男子：（監督）清水良祐、（選手）清水裕登、藤脇祐二	リード4位、ボルダリング2位
平成26年　10月17日～19日 第69回　長崎がんばらんば国体	成年男子：（監督）清水良祐、（選手）清水裕登、藤脇祐二	リード7位、ボルダリング2位
	少年男子：（監督）竹田拓哉、（選手）原田海、船木大生	リード9位、ボルダリング6位
	少年女子：（監督）中貝次郎、（選手）森脇ほの佳、藤村奈緒	リード8位、ボルダリング5位
平成27年　10月3日～5日 第70回　紀の国わかやま国体	成年男子：（監督）清水良祐、（選手）藤脇祐二、樋口秀雄	リード26位、ボルダリング23位
	成年女子：（監督）山口裕稔、（選手）クプラコワ・ナタリア、大山由紀	リード16位、ボルダリング18位
	少年男子：（監督）中貝次郎、（選手）原田海、北江優弥	リード3位、ボルダリング3位
	少年女子：（監督）島田孝司、（選手）森脇ほの佳、黒岡水夢	リード4位、ボルダリング7位
平成28年　10月7日～9日 第71回　希望郷いわて国体	成年男子：（監督）清水良祐、（選手）竹田拓哉、藤脇祐二	リード15位、ボルダリング10位
	少年男子：（監督）山口裕稔、（選手）原田海、北江優弥	リード4位、ボルダリング1位
	少年女子：（監督）中貝次郎、（選手）森脇ほの佳、大塚優希	リード3位、ボルダリング10位

表彰

勲章

平成22年秋　旭日双光章　城隆嗣

（一社）日本山岳協会会長表彰

平成23年　指導功労賞　山本一夫
平成25年　指導功労賞　山並久次

（公財）大阪体育協会 会長表彰

平成23年　体育功労賞　山並久次
平成28年　体育功労賞　福田義弘

（公財）大阪体育協会　生涯現役スポーツ賞

平成19年
金賞　柴田精一
銀賞　大津睦郎
団体賞　松下電器山岳会、近畿山行会

平成20年
銀賞　辻村清房、石水久夫
団体賞　大阪青雲会

平成21年
金賞　赤山伸夫
銀賞　松田吉一、足立俊郁、中村彰利

平成22年
金賞　宗實慶子
銀賞　片井巌、福田義弘、山田悟史
団体賞　日本山岳会関西支部

平成23年
金賞　金井健二
銀賞　斧田一陽、加茂隆弘、松下至博
団体賞　なにわ山岳会

平成24年
金賞　前田久
銀賞　伊藤文彦、佐藤正明
団体賞　大阪鋭峰会

平成25年
金賞　吉田愼平
銀賞　北安洋
団体賞　近畿山岳愛好会

平成26年
金賞　片井巌
銀賞　鈴木孝良、横山忠信
団体賞　大東市山岳連盟

平成27年
金賞　嶋田早苗
銀賞　重廣恒夫、根来春樹、桑原玲子
団体賞　いこいの山岳会

平成28年
金賞　山並久次
銀賞　中野秀治、有永寛
団体賞　好山好会

大阪府山岳連盟会員

大阪あすなろ山岳会

いこいの山岳会
平成23年　創立50周年
　記念集会（白馬）
　記念山行（後立山連峰縦走、周辺山域）
平成28年　創立55周年
平成28年末で、会月報665号、例会数11122回。

大阪アマチュアスキークラブ

大阪鋭峰会
平成22年　城隆嗣氏叙勲（8ページ参照）

大阪高等学校体育連盟登山専門部

大阪青雲会
平成28年
　創立55周年
　記念祭、記念植樹
　（9月18～19日、
　葛城高原ロッジ）



大阪同窓山岳会
平成22年　創立50周年

大阪山旅会

大阪山の会

大阪土佐堀山岳会
平成27年　大阪YMCA山岳会より名称変更
　会員堀口裕央氏、日本山岳写真協会賞授賞（平成27年奨励賞「エベレストの夕景」、平成28年最優秀H氏賞「神々しい世界」）



「神々しい世界」

岳友クラブ
平成28年　創立60周年
　記念誌発行

カクテル・アルパイン・グルッペ
平成21年2月　創立50周年
　記念誌発行
　現在58年目で例会2549回実施

関西蛍雪山岳会
平成24年　創立50周年
　平成24年11月23日～平成25年11月9日にかけて、「日本海～太平洋（親不知～北ア～中ア～南ア～三保の松原）」を「歩き、スキー、走り、自転車」等、人力で繋ぐ日本アルプス縦断ロングトレイル敢行。山行日数82日、延べ153人の参加により、1年に渡った記念山行を実施。

関西山岳会
平成25年　創立90周年

関西登高会
平成19年　創立60周年
平成22年　マッキンリー（デナリ6194m）登頂
　ここ10年モンブラン、マッターホルン、メンヒ、アイガーミッテルレギ稜、ピッツペルニナピヤンコグラート、16年マッターホルン、ユングフラフへの登山。
平成30年　チョーオユー登山計画。



デナリ

好山好会
平成28年4月1日　創立60周年
　記念誌発行
　記念山行（7月、一合目からの富士山）
　お祝い（紀伊見荘）

紫岳会
平成19年1月28日
　創立50周年
平成28年前代表故阿部和行
　スケッチ集発行



シャープ山岳部

泉州山岳会
平成23年　創立70周年記念式典、祝賀会
　（6月5日、HOTEL第一堺）



大東市山岳連盟

なにわ山岳会

(公社)日本山岳会関西支部
平成18年5月～20年11月　四国分水嶺踏査
平成21年4月～23年11月　近畿分水嶺踏査
平成24年5月　社会貢献の森づくり協定締結
　一般会員も公募して森づくり活動開始
平成27年　設立80周年
　記念式典 祝賀会
　（5月30日、ホテル北野プラザ六甲荘）
平成28年10月17日
　ナンガマリⅡ峰
　（6209m）初登頂



大阪歯科大学牧稜山岳会

やまゆき会
平成28年　創立100周年
　記念式典、祝賀会
　（5月22日、都ホテル
　ニューアルカイック）



近畿山行会

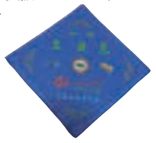
青穂クラブ
平成19年　創立40周年

なための仲間
　平成24年　創立40周年
　月刊会報を創立以来欠ける事なく発行し、平成29年3月号で545号。

北斗岳友会

大阪白樺クラブ

近畿山岳愛好会
平成21年　創立35周年
　記念式典（10月18日、ホテル大阪ベイタワー）
平成25年10月　創立40周年
　記念バンダナ作成
　当時会報発行数第254号、例会回数5950回。



吹田市山岳連盟

FAC大阪
平成27年　創立30周年
　記念山行、祝賀会
　（10月10日、大山）



大阪教育大学山岳会

金剛山剛友会
平成26年　創立40周年

平成山好会
平成25年　創立25周年
　記念登山（11月、小豆島・星が城山）

C・Q・R-OSAKA

NPO法人　二剛会

アドバンス・クライミング・スピリッツ A・C・S

山遊楽会(サフラン会)
平成25年　創立40周年
　記念山行（9月、白山集中登山）



パナソニック山岳会
平成19年　創立60周年
平成19年　エベレストBC
平成20年　松下電器山岳会からパナソニック山岳会に名称変更
平成20年　ドロミテ
平成24年　済州島・漢拏山(ハルラサン)

同人OKERA

大阪低山跋渉会

大阪工業大学体育会 クライミングスポーツ部

岳僚山の会

0'マウントニアリングクラブ

関西岳友会

Ｙ２１山の会
平成28年4月1日　創立15周年
　記念食事会（4月、梅田スカイビル）
　記念山行（7月、尾瀬、燧ケ岳、至仏山）

関西大学体育会山岳部（休会中）

大阪山遊会

雲山会
平成27年1月　創立10周年

ぐりんクラブ

大阪うすゆき山の会
平成19年　加盟

大阪アルデ山岳会
平成19年　加盟

オールマウンテンクラブ
平成22年　加盟

KODAC
平成22年　加盟

関西の山登り＆ときどきアルプス
平成24年　フォレスト山会として加盟
平成25年　現会名に改名

フリークライミングクラブ「ソレイユ」
平成25年　創立、加盟

炉端山友会
平成25年　加盟

なにわ岳友クラブ
平成26年　創立、加盟
　仲間は仲間で助けるが基本理念

